



今回、3年高橋先生の授業参観へ行きました。アポなしにもかかわらず、授業参観をさせてもらい、ありがとうございました！
今回は、授業の流れや内容について紹介したいと思います。

高橋先生が授業で配っている資料

めあて

(めあてとは、この時間の自分の目標、やろうと思っていることです。できるだけレベルが高く、全力を出し切って、やっと乗り越えられるめあてを立ててください。ミニレッスン後5分以内をお願いします。)

(ここに入力できます)

ふりかえり

(めあてが達成できたかどうか。その理由も具体的に書こう。)

(ここに入力できます)

フレンドシップ制度

教えてくれた人の名前を書いてください。
(その人の評価に反映させます。)

(ここに入力できます)

めあて・ふりかえり
評価欄 (教師記入欄)

◎・○・△・×のどれかを教師が記入します。

自己評価欄

(ここに入力できます)

◎・○・△・×のどれかを記入してください。

月
日
曜日

【高橋先生】

『個別最適な学びを取り入れた、授業スタイル』

★主な流れ

- ①ミニレッスン (やり方や用語の解説)
- ②各自で「めあて」の設定
- ③プリント2枚
- ④自分で何をするか決める
- 1、3種類のプリント (難易度別)
- 2、eライブラリ (ICT)
- 3、ワーク
- ⑤カフト
- ⑥振り返り

多様な生徒に合った課題の種類・豊富さ

中教審 (令和3年度) でも、全ての児童達の可能性を引き出す観点から、「個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実」を掲げています。また、その際には「GIGAスクール構想」を掲げ、ICTの活用を促しています。

ただ、課題の種類・豊富さを目指して「ゼロベース」からプリントを作ると、教員への負担が増えてしまいます。そこで、四條畷市で取り入れている学習ソフト「eライブラリ」の活用です。実際、高橋先生は3種類の課題のうち、2種類は「eライブラリ」の活用を行っています。単元を選ぶ手間はあるものの、すでに練られた問題プリントを短時間で用意することができるのです。

教科によって、記載されている問題の種類は違いますので、ぜひとも一度見てください！

学習形態のみにならないように！

9月の職員会議で校長先生が紹介した「次期指導要領関係資料」の中に、「個別最適な学び」について『「個別最適な学び」が学習形態となってしまう、「深い学び」とのつながりがないこともあるため注意が必要』という記載がありました。つまり「活動あって学びなし」にならないように、ということです。ただ、それはすべての活動において言えることです。『なんのために活動をするのか』『活動することの教育的効果はあるのか』という視点で考えることが大切です。

次期学習指導要領関係資料は読んだ？

9月職会で、「次期学習指導要領関係資料」が配布されましたが、読みましたでしょうか。なんと70ページにもわたって資料があるため、なかなか目を通すことは難しいかもしれませんが、そこで、資料を要約し音声データに変換しました。「ながら聴き」で構いません。聞きながらもし気になる点があれば、自分で資料を見返してみてください。

資料データ



音声データ

